

2018年5月24日

開業当時のデザインなどを再現するとともに、より快適な駅に生まれ変わります！

5月30日（水）に、
東上線 ときわ台駅の駅舎リニューアルが完成！

 ～ 地域の魅力を発信するギャラリースペース「むさしときわこみち武蔵常盤小径」を新設します ～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2017年5月より東上線 ときわ台駅舎のリニューアル工事を進めていましたが、2018年5月30日（水）に完成し、同日より使用を開始します。

このたびのリニューアル工事では、板橋区や地元の方々などのご協力を得ながら、同駅が開業した1935（昭和10）年頃のデザインや色使いを可能な限り再現しました。開業以降、地域のシンボルとして親しまれてきた青色スペイン瓦の三角屋根や大谷石の壁面を残したほか、特徴的な破風板は開業当初の色で塗り直しました。

また、改札口位置を開業当初の位置に移設するとともに、お客さま用トイレを新設するなど増築を行いました。

さらに、同駅舎および周辺に広がる常盤台住宅地の魅力をお客さまへ発信するため、駅舎の外壁を活用したギャラリースペース「むさしときわこみち武蔵常盤小径」も新設します。同ギャラリースペースでは、常盤台住宅地内の文化財などを紹介した計11面のパネルを展示します。

なお、今後は、同駅舎に隣接した商業ビルの工事を進めてまいります。

当社では、今後もお客さまに駅をより快適にご利用いただけるよう、駅舎のリニューアル工事を推進してまいります。

概要は別紙のとおりです。



△ときわ台駅 駅舎（リニューアル工事中）


 △昭和30年頃のときわ台駅 駅舎
（東武博物館 所蔵）

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

東上線 ときわ台駅 駅舎リニューアルの概要について

- 1 使用開始日時 2018年5月30日（水）始発から
※お客さま用トイレは2017年10月25日より使用を開始しています。
- 2 所在地 東京都板橋区常盤台1-43-1
- 3 延床面積 160.82㎡
うち、改修部分（既存駅舎） 62.10㎡
増築部分（トイレなど） 98.72㎡
- 4 構造・規模 木造 平屋建て
[駅事務室、お客さま用トイレ（男・女）、
ギャラリースペースなど]
- 5 設計会社 株式会社オー・エヌ・オー大野設計
- 6 施工会社 東武谷内田建設株式会社
- 7 駅開業日 1935（昭和10）年10月20日



△工事着手前の駅舎外観

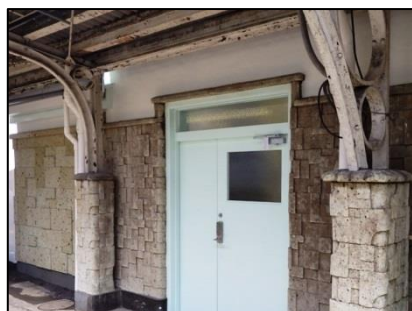
8 主なポイント

(1) 駅舎

開業当時からある青色スペイン瓦の三角屋根や、その下に配された縦長の三連窓、大谷石の表面に幾何学的模様を凹凸で表現した壁面や大谷石貼りの柱脚などは残しつつ、特徴的な破風板は、塗膜を調査分析のうえ開業当初の塗装色で塗り直しました。改札上部の欄間のデザインなどについては、過去の写真などを参考に再現しました。また、耐震性の向上も実施し、より快適で安全な駅へと生まれ変わりました。



△三角屋根や建具が特徴的な外観



△開業当時から残る大谷石の壁面・柱脚



△破風板

(2) ギャラリースペース「武蔵常盤小径」
むさしとときわこみち

駅舎および周辺に広がる常盤台住宅地の魅力をお客さまに発信するため、開業当時の駅名「武蔵常盤」にちなんで名付けたギャラリースペース「武蔵常盤小径」を、駅舎の壁面に新設します。同ギャラリースペースには、常盤台住宅地内の文化財などを紹介した全11面のパネルを設置します。なお、パネルの設置にあたっては、板橋区教育委員会、常盤台の景観を守る会などから貴重な資料をご提供いただきました。



△ギャラリースペース

以上

<参 考>

常盤台住宅地について

当社は、初の沿線開発として、武蔵常盤（現：ときわ台）駅の北口一帯（約24.3ha）の土地を造成し、同駅開業の翌年である1936（昭和11）年秋から「常盤台住宅地」として分譲を開始しました。地区内を一周できる環状の散歩道（プロムナード）や、曲線を多用した街路、袋小路の終点に設けたクルドサック、道路沿いの修景緑地であるロードベイなどが特徴です。

以上